『日商簿記 2 級・3 級の「仕訳の切り方」』正誤表: ISBN 978-4-7944-1331-4

訂正箇所	・ 3 級の「住訳の切り方」』正誤表:ISJ 誤	正
11ページ 3行目	有価証券には、株式、社債、株式、社債、国債~	有価証券には、株式、社債、国債~
22ページ「仕訳の切り方」最終行	~仕入の逆仕訳すればよい。	~仕入の逆仕訳をすればよい。
36ページ 3-5-4④の1行目	商品券の <u>清算</u> を行い, ~	商品券の <u>精算</u> を行い, ~
37ページ 「仕訳の切り方」下から 2 行目	商品券の <u>清算</u> を行った時点で、~	商品券の <u>精算</u> を行った時点で、~
50ページ 1行目	平成×7年12月31に,~	平成×7年12月31 <u>日</u> に, ~
58ページ 1行目	固定資産税, 印紙税は, 費用にならない税金~	固定資産税, 印紙税は, 費用に <u>なる</u> 税金~
67ページ 最終行	~100 いう仕訳を切り,	~100 という仕訳を切り,
68ページ 解答②貸方	売掛金 80,000	売 掛 金 <u>180,000</u>
68ページ「仕訳の切り方」1行目	~仕訳を切る必要ない	~仕訳を切る必要 <u>は</u> ない
76ページ「仕訳の切り方」2行目	~貸方裏書手形とすること。とする。	~貸方裏書手形とすること。
77ページ 下から3行目	手形の更改とは~ 有者に対して~	手形の更改とは~ 有者に対して~
80ページ 最終行	~売価1,000,000)	~売価 <u>¥</u> 1,000,000)
81ページ「仕訳の切り方」3行目	~未着品する。	~未着品 <u>と</u> する。
86ページ 2-3-5①の3行目	年 <u>2</u> %	年 <u>7.3</u> %
89ページ 上段の解答①	<u>鳥取</u> 商会	<u>島根</u> 商会
101ページ 上段の「仕訳の切り方」4行目	また、荷為替の <u>提示</u> を~	また, 荷為替の <u>呈示</u> を~
106ページ 「仕訳の切り方」下から4行目	受取 <u>取</u> 手数料は、~債権 <u>が</u> 発生せしめる。	受取手数料は、~債権を発生せしめる。
108ページ 2-6-6①の1行目	売価400,000~	売価 <u>¥</u> 400,000~
112ページ 解答②番号	② ②	2
114ページ 「仕訳の切り方」1行目	① 手許商品区分法商品を試送した~	① 手許商品区分法では、商品を試送した~
126ページ 2-7-4③の1行目	徳島株式会社 <u>は(決算年1回, 3月31日)</u> , ~	徳島株式会社 <u>(決算年1回, 3月31日)</u> は, ~
129ページ 2-7-6①	~1株¥9,000で <u>所得</u> し,	~1株¥9,000で <u>取得</u> し,
131ページ 2-8-1①の1行目	決算際し、~	決算 <u>に</u> 際し, ~
138ページ 「仕訳の切り方」4行目	〜仮払・仮受の <u>清算</u> を	〜仮払・仮受の <u>精算</u> を
138ページ 「仕訳の切り方」下から3行目	期末に消費税の <u>清算</u> を行う。	期末に消費税の <u>精算</u> を行う。
139ページ 「仕訳の切り方」下から4行目	期末に消費税の <u>清算</u> を行う。	期末に消費税の <u>精算</u> を行う。
139ページ 2-9-43	商品100,000~	商品 <u>¥</u> 100,000~
140ページ 「仕訳の切り方」下から4行目	期末に消費税の <u>清算</u> を行う。	期末に消費税の <u>精算</u> を行う。
141ページ 「仕訳の切り方」下から6行目	期末に消費税の <u>清算</u> を行う。	期末に消費税の <u>精算</u> を行う。
142ページ 2-9-5④の2行目	消費税の仮払分 <u>¥52,000は</u> であり、~	消費税の仮払分 <u>は¥52,000</u> であり、~
146ページ ②株式申込証拠金の1行目	~②新株の発行条件を <u>広告</u> して株主を	~②新株の発行条件を <u>公告</u> して株主を
150ページ 2-10-6①の2行目	~50株を <u>福島</u> 株式会社の株主に交付した。	~50株を <u>沖縄</u> 株式会社の株主に交付した。
150ページ 解答①貸方	借入金 <u>1,000,000</u>	借入金 100,000
150ページ 「仕訳の切り方」2行目	被合併会社(<u>福島</u> 株式会社)の~	被合併会社(<u>沖縄</u> 株式会社)の~

159ページ	2-11-3③の3行目	この社債は,平成 <u>3</u> 年10月1日に,~	この社債は、平成 <u>×3</u> 年10月1日に、~
162ページ	②支店独立計算制度の3行目	まず <u>B</u> 支店から <u>A</u> 支店に現金が移動するので、~	まず \underline{A} 支店から \underline{B} 支店に現金が移動するので、 \sim
172ページ	解答5の貸方	売掛金 40,00	売 掛 金 40,000
174ページ	解説1の2行目	~¥6,000,000×0.98=5,880,000であり、	~¥6,000,000×0.98= $\underline{$\xi$}$ 5,880,000であり,
179ページ	解説1の1行目	~ <u>10</u> 個×@¥7,000=42,000	~ <u>6</u> 個×@¥7,000=42,000
179ページ	解説1の7行目	当期純利益が計上されているということは, ~	2 当期純利益が計上されているということは、~
179ページ	解説5の1行目	\sim \forall 2,000,000 \times 0.9 \times \frac{\display}{1} 10 \times 4 = \forall 720,000	\sim \forall 2,000,000 \times 0.9 \(\ddot\) 10 \times 4 = \forall 720,000
183ページ	3の最終行	~の計上 <u>の</u> あわせて行うこと。	~の計上 <u>を</u> あわせて行うこと。
185ページ	2の5行目	(借)当座預金 <u>3,170,000</u> (貸)未払金 <u>3,200,000</u>	(借)当座預金 300,000 (貸)未払金 300,000
185ページ	3の4行目	$x (1 - \frac{2.7x}{5}) = $ ¥115,000	$x (1 - \frac{2.7}{5}) = $ ¥115,000

http://www.books-sosei.com